

「日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究」に関するお知らせ

和歌山県立医科大学附属病院高度救命救急センターでは以下の研究に参加しています。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(倫理委員会審査承認日) ~ 2020年3月31日

〔研究課題〕 日本外傷データバンクへの外傷患者登録と、登録データを用いた臨床研究

〔研究責任者〕 和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 講師 上田健太郎

〔研究目的〕 外傷は子供や若年層の死因の第1位、2位を占め、社会的損失の大きい健康問題です。外傷の診療の質を評価し、向上させることは外傷による死亡率を低下させるために重要なことです。本研究では、外傷診療にかかわるデータを全国の医療施設(主に救命救急センター)から収集し、各医療施設の診療の質評価や、診療行為の効果を評価するための分析を行います。

〔研究意義〕 施設ごとのデータを全国データと比較することにより、各施設の診療の現状を評価することが可能になり、診療の質向上に寄与することができます。さらに、集積されたデータを分析することにより、診療行為の効果や診断の精度を評価し、外傷診療システム全体の向上に寄与することが期待できます。

〔対象・研究方法〕 本研究の対象となるのは、(倫理委員会審査承認日)から2020年3月31日までに和歌山県立医科大学附属病院高度救命救急センターを受診され、重症外傷(6段階の重症度スコアで3以上)を有する患者様です。個人を特定できる情報を除外した形で、受傷原因、受傷時の血圧、心拍数、呼吸数、病院での処置・治療内容、入院日数、死亡の有無などのデータを登録します。登録はインターネットを用いた入力により行います。

〔研究機関名〕 防衛医科大学校病院が中央研究機関となり、和歌山県立医科大学附属病院を含む244病院(2016年5月1日現在)が参加しています。

〔個人情報の取り扱い〕 データは匿名化(個人が特定できる情報を除外)した形で登録されていますので、個人が特定されることはありません。日本外傷データバンクのデータは、不正なアクセスや改ざん漏えいが起きないように厳重に管理されています。防衛医科大学校病院で全国データを分析する際は、研究代表者が責任を持ってデータの管理を行います。データは研究目的以外に使用することはありません。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。お申し出により登録をしないことができます(データバンクへ登録後でも、お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済みの研究結果からの削除はできません)。お申し出により診療上の不利益をこうむることはありません。

対象となる患者様またはその御家族で、患者様の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先： 和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 講師 上田健太郎

住所： 〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1

TEL： 073-441-0603

E-mail： eccm@wakayama-med.ac.jp